

除草剤

アーセナル[®]

イマザピル液剤

農林水産省登録
第16699号

成分 イマザピル(化管法2種)…………… 25.0%
 [イソプロピルアンモニウム=(RS)-2-(4-イソプロピル-4-メチル-5-
 オキソ-2-イミダゾリン-2-イル)ニコチナート
 界面活性剤、水等…………… 75.0%

性状 淡黄緑色澄明粘稠水溶性液体

®=BASF社の登録商標



KB-22A

製造 **BASFジャパン株式会社**
 本社 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
 ☎0120-014-660 <https://agriculture.basf.com/jp>

●ラベルをよく読む。 ●記載以外には使用しない。 ●小児の手の届く所には置かない。
 ●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。 ●洗浄水はタンクに入れる。

■適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	イマザピルを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面 鉄道等	一年生雑草	雑草生育期	200~400mℓ /10a	60~100ℓ /10a	2回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	2回以内
		多年生雑草		600~1000mℓ /10a				
		クズ、ササ類		1000~1400mℓ /10a				

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	希釈倍数	使用液量	本剤の使用回数	使用方法	イマザピルを含む農薬の総使用回数
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面 鉄道等	雑かん木	伐採直後	5倍又は10倍液	切り口全体に十分量を塗布	—	植栽地を除く樹木等の周辺地に切株塗布処理	—

⚠️ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきる。
- 所定量を所要量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布もしくは塗布する。
- 生育盛期(草丈30cm以上)処理の時は、所定の範囲内で多めの薬量を処理する(効果)。
- 本剤は遅効性であり、効果発現までに2週間位要するので、誤って再散布しない。
- 作物及び有用植物に直接散布しない。また、数年以内に栽植が予想される所では使用しない(薬害)。
- 散布液が農地または有用植物に飛散しないよう注意して使用する(薬害)。
- 散布時は、樹木の根系から3m以上離れた所とする(薬害)。
- 流亡水が灌漑水路に流れ込むおそれのある所では使用しない。
- 激しい降雨が予想される場合は使用をさける(効果・薬害)。
- 雑かん木に塗布処理をする場合は、伐採後、切り口全面にまんべんなく直接塗布する。有用木に付着しないよう十分注意(薬害)。
- 使用量、使用時期、使用方法を守る。
- 散布および塗布器具、容器の洗浄水および残りの薬液は河川等に流さず、容器などは圃場に放置せず環境に影響を与えないよう適切に処理する。

製造場 BASFジャパン株式会社 北利根工場
 茨城県古河市北利根9-3

⚠️ 安全使用上の注意

- 眼に入らないように注意。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける(刺激性)。
- 皮膚に付着しないように注意。皮膚に付いた場合は直ちに石けんでよく洗い落とす(弱い刺激性)。
- 散布時は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などは石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼する。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意。
- 鉄道、工場敷地等で使用する場合は、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)は関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管する。
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。
- 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収する。
- 移送取扱いは、ていねいに行う。

魚毒性等…この登録に係る使用方法では該当がない。
 保管…密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、冷凍・乾燥した所。

最終有効年月(西暦下2ケタ)